

【教育目標】 未来をひらく豊かな社会をめざして  
 ◎ 自ら進んで学ぼう ○思いやりの心 感動する心をもとう ○たくましく 心と体をきたえよう

※評価は4段階(A…9割以上達成、B…8割以上達成、C…5割以上達成、D…達成5割未満)

学校評価計画		学校評価報告 / 自己評価			
目指す学校像	評価項目 (=中長期的目標)	評価方法・目標水準	評価結果	評価 自己評価 関係者評価 最終評価	(上段)○学校関係者評価の概要及び意見 (下段)●考察及び、次年度への課題と解決策
◎感動あふれる学校	○確かな学力の向上	①総合的な学習の時間を中心にプレゼンテーション・発表活動を充実させ、年に1回以上PCを用いた発表する機会を設定する。授業の中で <b>タブレットPCを効果的に活用</b> する。(令和3・4年度日の出町研究指定の実践の継続)			
		②思考力・判断力・表現力を高める指導の工夫する。 <b>【主体的・対話的で深い学び】</b> <b>【日の出町学習スタンダード】</b> (個→グループ(協働学習)→全体での活動)を徹底する。			
		③家庭学習の習慣を付けるため、 <b>【学習見える化計画表】</b> に取り組ませ、学習のきっかけをつかませる。(3年計画の2年目) <b>【生活見える化計画表】</b> (1年のみ)を併せて取り組ませる。英語の聞く力を付けるために、 <b>英会話の風放送</b> や、清掃時の英語の音楽を流す。			
		④テスト前の <b>質問教室</b> は全教科で行う。また、休業中の <b>学習教室は年間15日以上</b> 実施する。放課後学習教室を毎週火曜日と水曜日に開催する。			
◎自尊感情を高め、学校生活を充実を図る	○自尊感情を高め、学校生活を充実を図る	①体育祭、音楽会、職場体験における生徒の表現力を向上させる。保護者アンケートで、各行事で感動したと回答する割合を <b>80%以上</b> にする。			
		②一人一人に適した卒業後の進路決定。卒業式までに生徒の <b>進路先を100%</b> 決定する。			
		③コミュニケーションの場として校長室前の <b>「立ち止まりの場所(仮称)」</b> を充実させる。「立ち読みSmall Library」「スライドショー映像」「等身大鏡の身なりチェック」等			
		④体育祭、合唱会に <b>生徒全員参加率を95%以上</b> にする。			
		⑤進学講演会、進路説明会の充実。更に、進路説明会保護者の参加率を <b>80%以上</b> にする。			
◎道徳教育が充実している学校	○人権尊重の意識の醸成・自他を尊重する心や態度の育成	①生徒アンケートで、悪口、言葉の暴力や意地悪をしなかったと答える生徒を <b>80%以上</b> にする。			
		②全校で <b>人権作文</b> に取り組ませ、生徒の <b>作文提出率を90%以上</b> とする。			
		③道徳授業の充実。 4人グループでの話し合い活動を取り入れ <b>【考える道徳、議論する道徳】</b> を行う。			
		④ <b>年3回</b> のふれあい月間終了時にいじめに関する実態調査を行い、記載事項については聞き取り調査も実施し、 <b>初期対応に当たることで問題解決</b> させる。			
◎真に信頼される学校	○保護者や地域との連携の推進	①保護者アンケートにおいて、「学校の情報や生徒の様子の分かりやすく伝えられている」と答える保護者の割合を <b>80%以上</b> にする。(学校HP、学校だより、学年だよりで情報発信する。宿泊行事等は <b>【すぐーる】</b> でリアルタイムに情報発信し、家庭に様子を伝える。)			
		② <b>【日の出町教育ビジョン2023】</b> 家庭・地域・学校が <b>【かかわりと】</b> と <b>【つながり】</b> を意識した取組を推進し、「学び」の成果を地域や次の世代に伝える <b>「学びの循環」</b> を大切にする。保護者アンケートで肯定的意見を80%以上			
		③全ての判断基準を <b>【生徒ファースト】</b> 決められたルールの中で先ず、生徒に必要かどうか、教育的効果を考える中、教員の働き方改革を考慮しつつ、保護者・地域の理解を得る。保護者アンケートで肯定的意見を <b>80%以上</b>			
		④学校行事、学校公開の積極的な公開の推進。 学校行事における地域からの参加者のアンケートで「満足した」と回答する率を <b>90%以上</b> とする。			
◎組織的な学校運営の推進	○組織的な学校運営の推進	①自己評価で組織的な運営ができたと答える教員の割合を <b>80%以上</b> にする。 主幹教諭を軸とした <b>組織的な学校運営</b> の推進。			
		②不登校生徒の <b>【居場所づくり】</b> を重視し、複数の教員での <b>【つながり】</b> をもつことで寄り添い指導を徹底する。 <b>スマイルルーム</b> の利用を柔軟にし、生徒が利用しやすい環境を整える。支援コーディネーターを中心に、SCや町教育相談と連携する。			
		③毎期の経営会議で3名の主幹教諭への指示・伝達を行うことで、学校経営への参画をさせ、各分掌及び学年による <b>若手教員に対するOJT</b> を充実させる。			
		④生活指導部と連携し、情報交換に留まらず、指導方針を打ち出し徹底する。生活指導主任を中心に各学年の生活指導担当と連携を図り、 <b>問題解決に即時取り組み解決</b> させる。			